



とちぎマイスター「金属熱処理（浸炭・浸炭窒化・窒化処理作業）」技能の例

「自動車歯車部品の浸炭焼入れ」

かなり こうぞう
金城 恒三 下野市 在住

日産自動車株式会社 栃木工場 第三製造部 第二車軸課 (Tel 0285-56-1368)

熱処理・浸炭炉の信頼性向上

（現在の仕事）

中間熱処理工程で、ガス浸炭炉・真空浸炭炉を用いて部品の浸炭焼入れをおこなっている。主として炉の安全性・保守・制御の維持管理及び品質向上に努め浸炭炉の信頼性向上活動をおこなっている。

（得意な分野）

浸炭焼き入れ部品の品質保証は設備条件管理が必要となる。炉内点検を含むサイクル制御や燃焼制御の保守維持管理と熱処理治具の管理を仕組みとして落とし込んでいます。

安全な職場環境と高品質を生む設備条件管理を構築し、各浸炭炉における改善や故障リスク低減などの信頼性向上を図っています。

最後までやり遂げ・実現する力

経験・知識・技能を若手に分かりやすく教えるため、カンコツの数値化・技能の数値化と云った基準化に力を入れて取り組んでいます。

しかし、時がたつとその基準も変わるため、基準化し PDCA を回し続けること、つまり決めた基準を常に見直すことが必要です。

現在、多様化し常に変化する日常の中で生じる、新たな問題・課題に対して常に考え「何故うまくいったのか・何故うまくいかなかったのか」原理原則で考察し、失敗しても諦めることなく、それを経験値にして、最後までやり遂げ、実現する力を身に付けてもらいたい。

